

## キャリアパス委員会企画

### キャリアパス委員会主催 ランチョンセミナー2014

#### — 博士の多様なキャリアパスを切り開く —

日 時:2014年11月26日(水) 11:45~13:00

会 場:パシフィコ横浜 会議センター3階 301(第2会場)

司 会:キャリアパス委員 岩崎 渉(東京大学大学院理学系研究科)

#### ● 講演1:谷澤 欣則(日本イーライリリー株式会社 研究開発/医学科学本部)

「博士号は民間企業でも有用か？」

～大学のキャリア支援を活用したPh.D.からの報告～

#### ● 講演2:森 典華(名古屋大学社会貢献人材育成本部 ビジネス人材育成センター)

「博士が社会で多彩に活躍！」

～大学で博士人材のキャリア支援をしてきた立場から～

#### ● ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッションwithキャリアパス委員

井関祥子(医科歯科大・医歯)、佐藤 健(群馬大・生調研)、塩見美喜子(委員長/東大・理)、  
東山哲也(名大・ITbM)、柳田素子(京大・医)

※会場の皆様にはご自身の携帯電話・スマートフォンから専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を前方スクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナー当日の午前8時より、バイテクセミナー整理券引換デスク(パシフィコ横浜 会議センター1階 第1クロック横)にて「参加整理券」を発券します。

分子生物学会キャリアパス委員会は、以前の若手教育問題ワーキンググループおよび男女共同参画委員会の流れを汲むかたちで今期より新たに発足した委員会です。本委員会の狙いは、若手を取り巻く問題や男女共同参画を取り巻く問題をより包括的な視点から共有し、考え、一丸となって解決策を求めることにあります。発足二年目にあたる本年度の年会でも、キャリアパス委員会主催のセミナーを年会2日目および3日目に開催致します。このうち年会2日目(11月26日)は、「博士の多様なキャリアパスを切り開く」と題し、海外でのポスドク経験の後に民間企業へ就職、複数の企業にわたってキャリアを構築されてきた日本イーライリリー株式会社の谷澤欣則氏、そして、多くの大学院生・ポスドクのキャリアパスに関するサポートを活発に推進し、多くの成功例を導かれてきた名古屋大学社会貢献人材育成本部の森典華先生に御講演を頂きます。講演後は、キャリアパス委員6名を含め、ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッション形式で意見交換を行い、博士の多様なキャリアパスの切り開き方を聴衆の皆様と共に探りたいと思います。一筋縄ではいかないテーマではありますが、自分自身の経験に基づいた講演と多くの経験に基づいた講演の双方により、ポジティブな展望を描く機会となれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。

## キャリアパス委員会企画

### キャリアパス委員会主催 キャリアパスセミナー2014

池上彰と考える — これでもいいのか日本の生命科学研究 —

日 時:2014年11月27日(木) 11:45~13:00

会 場:パシフィコ横浜 会議センター1階 メインホール(第1会場)

コーディネーター:池上 彰(東京工業大学リベラルアーツセンター 教授)

### ●パネルディスカッションwithキャリアパス委員

石井 優(阪大・医)、小野弥子(都医学研)、五島剛太(名大・理)、小林武彦(遺伝研)、  
斎藤通紀(京大・医)、白髭克彦(東大・分生研)

※本セッションで取り上げてほしいテーマを<cp2014@mbsj.jp>までお寄せください。

※本セッションはランチョンセミナーではありません。会場内での飲食は禁止です。

研究者の多くは、誠実に自然の真理と向き合い、その解明に向かって日々努力し着実に成果を上げています。一方で、ほんの一部ではありますが、社会問題化しているSTAP騒動をはじめとし、研究・論文不正は後を絶ちません。ひとたび不正問題が起こるとたくさんの研究者が巻き込まれ、研究以外のことに多くの時間を使い、さらには新たな規則ができ、研究の効率とモチベーションを著しく低下させます。不正問題によるもっとも重大なダメージは、尊重し協力し合うべき研究者が不信と疑念を抱き、研究に必須である「創造的な空気」が汚染されてしまうことです。また不正問題に加えて、ポストクのキャリアパスが少なすぎるという問題も同様に研究者社会に暗い陰を落としています。

より研究しやすい、また若者が夢を抱いて参入できる研究者社会を作るためには、個人として、組織として、研究者コミュニティとして、今何が必要なのでしょう？池上彰氏をコーディネーターに迎えて一緒に考えましょう。